

CP-6-Ⅲ-19	食生活と保健衛生	第6学年	前期 選択	0.5単位
担当者	高橋 勝彦			
一般目標 (GIO)	食生活による人体の恒常性維持とその崩れから生じる各種疾患について修得する。また、保健衛生における薬学の取り組みの実際を修得する。			
到達目標 (SBOs)	<p>【栄養と疾病】</p> <ol style="list-style-type: none"> 食品中の五大栄養素を列挙し、消化、吸収、代謝のプロセスと栄養的な価値を説明できる。 五大栄養素以外の食品成分の機能について説明できる。 エネルギー代謝に関わる基礎代謝量、呼吸商、推定エネルギー必要量の意味を説明できる。 日本人の食事摂取基準について説明できる。 栄養素の過不足による主な疾病を列挙し、疾病治療における栄養の重要性を説明できる。 生活習慣病の種類と予防法について説明できる。 <p>【食品機能と衛生】</p> <ol style="list-style-type: none"> 食品が変質する機構を列挙し、これを防ぐ方法を説明できる。 代表的な食品添加物を用途別に列挙し、それらの働きを説明できる。 特別用途食品と保健機能食品について説明できる。 食品衛生に関する法的規制について説明できる。 <p>【化学物質の毒性】</p> <ol style="list-style-type: none"> 代表的な有害化学物質の吸収、分布、代謝、排泄の基本的なプロセスについて説明できる。 重金属や活性酸素の毒性と障害を防ぐための生体防御について説明できる。 発がん性物質などの代謝的活性化の機構を列挙し、その反応機構を説明できる。 発がんに至る過程について説明できる。 化学物質の毒性を評価するための主な試験法と原理を説明できる。 有害化学物質による人体影響を防ぐための法的規制を説明できる。 <p>【水環境】</p> <ol style="list-style-type: none"> 水の浄化法について説明できる。 水の塩素処理の原理と問題点について説明できる。 水道水の水質基準の主な項目を列挙できる。 下水処理および排水処理の主な方法について説明できる。 水質汚濁の主な指標を水域ごとに列挙し、その意味を説明できる。 富栄養化の原因とそれによってもたらされる問題点を挙げ、対策を説明できる。 <p>【大気環境・室内環境】</p> <ol style="list-style-type: none"> 空気の成分を説明できる。 主な大気汚染物質を列挙し、その推移と発生源について説明できる。 室内環境と健康との関係について説明できる。 シックハウス症候群について概説できる。 <p>【廃棄物】</p> <ol style="list-style-type: none"> 医療廃棄物の安全な廃棄、処理について説明できる。 マニフェスト制度について説明できる。 PRTR法について概説できる。 			
受講心得・準備学習等	教科書「健康と環境」を必ず持参する。各回の講義内容に即した2, 3年次の講義ノート・配布プリントについて30分程度予習して準備する。			
事後学習・復習等	講義日に教科書、配布プリントを見直して、60分ほど復習する。不明な点はオフィスアワーを利用して早々に解決する。			
オフィスアワー	講義日の20:00まで。			

授業の形式と各回の内容

授業の形式		演習を中心とする。
回	項目	内容
1	栄養と疾病	栄養素の消化と代謝、生活習慣病
2	食品機能と衛生	食品の変質と予防、食品衛生と法規制
3	化学物質の毒性	有害化学物質と代謝、発がん性物質
4	水環境	水道水、下水、排水、水質基準
5	大気環境・室内環境	大気汚染物質、シックハウス症
6	廃棄物	医療廃棄物、廃棄物と法的規制
7	試験	

成績評価の方法	試験の成績により評価する。
成績評価の基準	試験の総点が60%以上を合格とする。
教科書	日本薬学会編「スタンダード薬学シリーズ5 健康と環境」(東京化学同人)
参考書など	日本薬学会編「スタンダード薬学シリーズ4 生物系薬学Ⅱ 生命をミクロに理解する」(東京化学同人) 井手、武田編「衛生薬学-新しい時代-」(廣川書店)